

ディボーション質問表



今週の箇所は、「エレミヤの後半生の事件」（26～45章）の中の、「エホヤキム、ゼデキヤ時代の出来事」（34：1～39：18）の部分です。

12日（月）エレミヤ書 34：1～7 ゼデキヤ王への警告

1. この箇所は、BC588年の冬から春にかけての出来事です。主はエレミヤを通してゼデキヤ王に語られます。ゼデキヤ王については、Ⅱ列王記 24：18～25：7節を読んでみてください。
2. 5節に書かれているゼデキヤ王の最期についての預言は、聖書の他の箇所には書かれていない内容です。主がゼデキヤ王に語るように言われた内容を書き出してみましょう。

13日（火）エレミヤ書 34：8～22 奴隷の解放

1. この箇所は、BC588年の春から夏にかけての出来事です。8～10節に、ゼデキヤ王が民と結んだ契約が書かれています。どのような事をするか約束したのでしょうか？何故このようなことをすると約束したと思いますか（13～15節参照）？
2. 11節以下で民は結んだ契約を破棄しています。その行為を受けて主がエレミヤを通して語られた言葉が12節以下に書かれています。その内容を観察してみましょう。彼らが心を翻した背景には、37：5節の出来事があったようです。

14日（水）エレミヤ書 35：1～11 忠実なレカブ人

1. 35～36章はエホヤキム王の治世の預言で、年代的には26章に続く内容です。主がエレミヤに語られた内容はどのような事でしたか？エレミヤを通して、主の言葉を聞いたレカブ人はどう答えていますか？その理由は何故だと言っていますか？
2. ヨナダブ（6節）は、Ⅱ列王記 10：15節に出てくる人物です。10節を見ると彼らは、約250年間その命じられた事を行なってきました。彼らの姿を見てどう思いますか？

15日（木）エレミヤ書 35：12～19 レカブ人からの教訓

1. 12節以降、レカブ人の応答を聞いて語られた主の言葉が書かれています。主はレカブ人とユダの人々を比較しています。それぞれについてどのように言っていますか（13～16節）？
2. レカブ人とユダの人々の行ないの結果、主はそれぞれに対してどのようにすると語られていますか（17～19節）？この箇所から適用として何を学ぶ事が出来るでしょうか？

16日（金）エレミヤ書 36：1～20 預言の巻き物1

1. 主はエレミヤに対して、何をどのように語っていますか？そのように命じている理由は何だと言われていますか？ここから主のどのような思いを知る事が出来ますか？主の言葉を聞いたエレミヤはどのようにしていますか（1～8節）？
2. 9～26節は8節の言葉の具体的な展開です。主の言葉を聞いた人々（民、ミカヤ、首長たち）の反応はどのようでしたか？また首長たちはバルクとエレミヤに対してどのように言っていますか？

17日（土）エレミヤ書 36：21～32 預言の巻き物2

1. 21～26節には、主の言葉を聞いた時のエホヤキム王と彼の家来たちの反応はどのようでしたか？それに対してエルナタンとデラヤとゲマルヤはどのように王に願っていますか？それを聞き入れない王はどのような命令を出していますか？
2. エホヤキム王が巻き物を焼いた後に、主はエレミヤに再び語っておられます。主はエレミヤに何をどのように語っていますか？また王に対してはどのような事が語られていますか（27～32節）？